

2020年3月

新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業継続に関する声明

お客様、お取引様各位

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大は、世界中の私たち全員に影響を及ぼしています。

トライコー・グループの掲げている最優先事項は、常にお客様のサービスに寄り添うことです。

私たちは、従業員、取引先、およびその家族の健康と安全を確保しながら、お客様が慣れ親しんでいる、私たちの提供する質の高い顧客サービスの継続的な提供に取り組んでおります。

2020年2月26日以来、トライコー・グループは事業継続計画を発動し、刻一刻と変化する状況に積極的に対応して参りました。

各国現地の事業継続性（Business Continuity）チームとともに、事業継続を確実に実行するための司令本部を展開することで、決して止まることのない、完全なオペレーションを実現しています。

現在、私たちが事業を展開している21か国においては、私たちの提供するサービスや業務に影響はありませんが、トライコー・グループがCOVID-19の脅威にどのように対応しているか、を以下にお知らせします。

1. **従業員の安全**：従業員の安全は最優先事項です。私たちは、トライコーすべてのオフィスで、感染ゾーンに移動した従業員の職場の消毒、社会距離戦略（感染症対策において、人と人との距離を開け、接触機会を減らすこと）、隔離、自己検疫、予防用品（マスク、温度計、消毒剤など）の配布などの適切な衛生慣行を展開しています。
2. **従業員の支援**：私たちのリーダーシップチームは、世界保健機関（WHO）と私たちが拠点を置く現地国政府が発行したアドバイスを理解し、それらに従うため、様々なネットワークを通じて定期的に関係者とコミュニケーションを取っています。

3. **感染拡大を防ぐための予防措置**：リモート会議をすでに展開しているため、ビジネスに不可欠な会議への出席に何ら影響を与えません。
4. **すべての事業運営を継続**：事業継続計画、リモートワークのためのインフラ整備、マレーシアのシェアードサービスセンター、およびアジア太平洋地域のオフィスの多様化のための投資は、高いレベルでの回復力を維持するために重要です。
5. **政府の政策に対応する準備**：アウトブレイクの流動性と世界中の政府の政策の変化には、継続的な警戒と対応の準備が必要です。当社の事業継続司令部は、21か国で各国の状況を監視し、リソースの動員とサービス提供計画の活性化を調整しています。

COVID-19の発生は、世界的に大きな懸念を引き起こしており、地域社会や企業に影響を及ぼしています。

皆さまが私たちの行動を支持してくださっていると信じております。

この困難な時期に私たちがお客様に提供できるさらなる支援についてお問合せがある場合は、是非私どもにご連絡ください。

トライコー・グループ グループ CEO Lennard Yong